



がんばろう国産材！！

佐伯広域森林組合

www.saikiforest.or.jp





佐伯広域森林組合 宇目工場 全景

佐伯広域森林組合 概要

平成29年9月作成

組合名： 佐伯広域森林組合

代表者名 代表理事組合長 戸高 壽生

所在地： 大分県佐伯市宇目大字南田原283番地2

連絡先： TEL 0972-54-3326 (本所)

FAX 0972-54-3328 (本所)

TEL 0972-54-3930 (宇目工場)

FAX 0972-54-3022 (宇目工場)

組合員数 5,176名(正・准 計)

出資金額 722,397千円

設立月日 平成2年3月31日

役職員数 役員12名 一般職39名 技術職111名 他

森林面積 国有林 14,531 ha

民有林 64,313 ha

計 78,844 ha

管轄エリア： 大分県南部エリア(旧佐伯市・旧弥生町・本匠村・宇目町・直川村・蒲江町)

総面積：90,328 ha

弊社28年度実績

(H28.7~H29.6)

・森林整備事業(植林・下刈・除伐・間伐)

機関造林関係 植林 12 ha

間伐他 454 ha

作業道等 10,845 m

民有林関係 植林 340 ha

間伐他 1,380 ha

・林産・販売事業(収入間伐・皆伐・原木共販)

買取林産 105,448m³ = 立木を購入し木材を出荷した量

受託生産 10,128m³ = 組合員等より受託して木材を生産した量

計 **115,576m³(直営にての伐出量)**

原木市場木材取扱量 佐伯共販所 = 35,030m³

宇目共販所 = 115,045m³

計 = 150,075m³

平成28年度(H28.7-H29.6)宇目工場原木消費実績： 108,912m³

・森林ボランティア

2~3回/年、開催

略歴：	平成 4年度	新設	当初目標原木消費量：20,000m ³ /年間
	平成 5年度	製材機械増設	
	平成13年度	木材乾燥機・修正挽施設	新設
		高温乾燥機	50m ³ タイプ×2基
		修正挽施設	一式
	平成15年度	木材乾燥機	増設
		高温乾燥機	50m ³ タイプ×2基
	平成20年度	宇目工場	リニューアル 目標原木消費量：110,000m ³ /年間
		中温乾燥機	200m ³ タイプ×1基
		高温乾燥機	50m ³ タイプ×2基（内、高周波併用型1基）
		モルダ―設備	2式
		木屑焚ボイラー	を1 tから5 tへ変更
	平成21年度	高温乾燥機	50m ³ タイプ×1基
		中温乾燥機	200m ³ タイプ×2基
	平成22年度	高速モルダ―	100m/分
		製材品自動選別機装置	（ソーター）
	平成23年度	高温乾燥機（高周波併用型）	50m ³ ×1基
	平成25年度	高温乾燥機	50m ³ タイプ×1基

主要設備：製材機械 一式 チップキャンター付きワンウェイライン
原木消費量：108,912m³（H28年実績）

<u>木材乾燥機</u>	高温乾燥機	50m ³ タイプ×9基(内、高周波併用2基)
	中温乾燥機	200m ³ タイプ×3基
	低温乾燥機	200m ³ タイプ×1基
	計	1,250 m ³

<u>モルダ―</u>	2基	KD羽柄材仕上用
<u>高速モルダ―</u>	1基	//
<u>モルダ―</u>	1基	KD構造材仕上用
<u>修正挽装置</u>	1基	//
<u>ボイラー</u>	1基	木屑焚ボイラー（5 t）

JAS認定：Bタイプ J L I R A - B ・ 6 4 ・ 0 4
 取得日 平成21年2月27日
 品目 構造用製材
 区分 構造用製材 人工乾燥用構造用製材
 機械等級区分構造用製材
 追加 平成29年9月14日
 スギ正角 SD15 追加
 スギ平角 SD15 追加

緑の循環認証会議（SGEC） SGSJP-034
 大分森林認証協議会としてのグループ認証

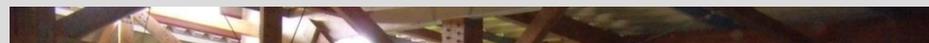
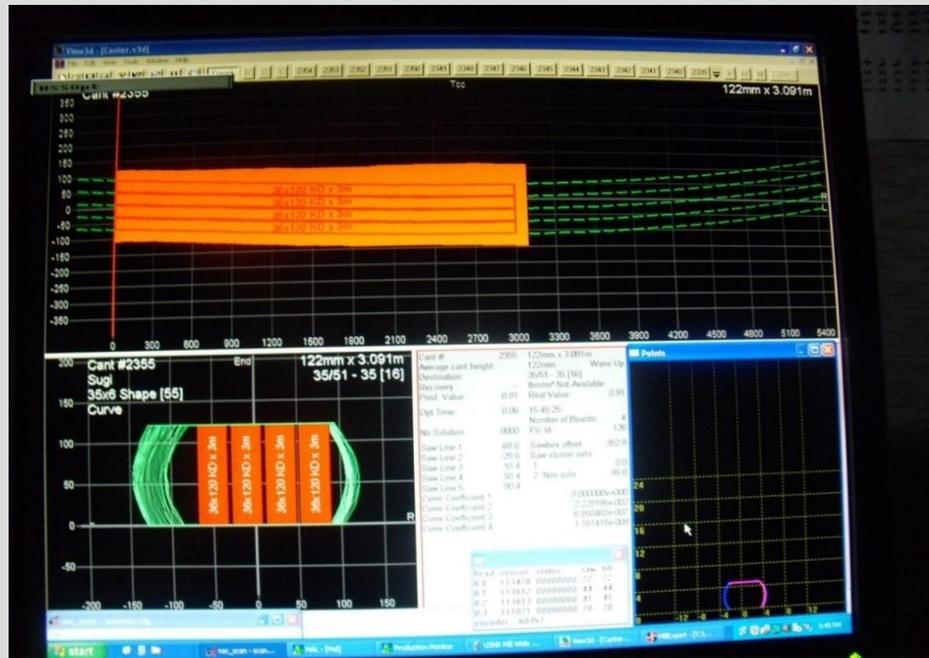
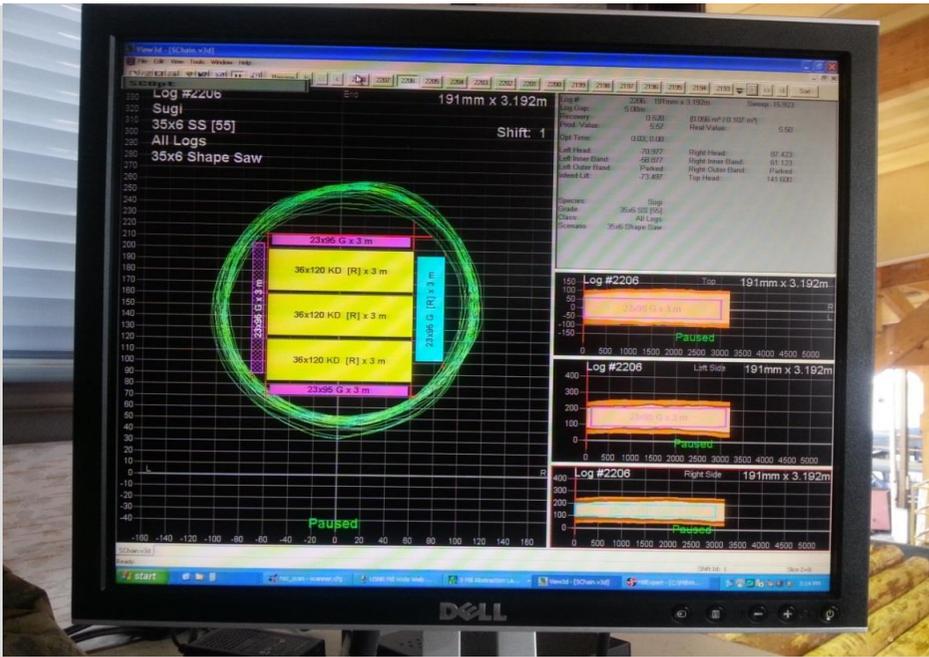
緑の循環認証会議（CoC） SGSJP-W110
 宇目工場/中間土場/宇目共販所/佐伯共販所
 整備センター/バイオマスチップ事業

合法木材会員に係る会員認定
 認定番号 大森連合認44-06号

木質バイオマスの証明に係る事業者認定
 認定番号 大森連合認44-06号

J-クレジット制度 クレジット認証
 プロジェクト番号 JCS-KC0249
 クレジット量 2,261 t-CO2

主要生産品材
 スギ・KD材： 構造材（柱・平角）
 羽柄（タルキ・間柱等）





佐伯型循環施業を推進するためのコンテナ苗生産の取組計画

平成27年2月末作成

今までの経緯

①組合における植栽実績と苗木仕入れ(宮崎県からの移入が殆ど)

区 分	H24春実績	H25春実績	H26春実績	H27春予定	備 考
1 植栽面積	320ha	380ha	325ha	270HA	
2 苗木購入本数	698千本	926千本	746千本	600千本	
内訳 ①管内	5千本	7千本	2千本	10千本	
②管外	218千本	210千本	124千本		
③県外	474千本	708千本	620千本	590千本	

※植栽面積は公団+民有林合計面積(8割が個人の所有林)



今後の取組方針

①生産技術指導をしながら、管内の生産者を30名程度を目標に普及する。
平成27年度の新規生産者 5名程度確定(作業班・椎茸生産者・農業との兼業・会社員等)

②採穂園造成を行い、優良品種の母樹林をつくる。

平成26年度 春 佐伯市の協力をえて、市有林を採穂園造成。面積1.2HA 2400本(タノ赤・マ赤・始良20号)

③採穂園から穂がとれるまでは、山取りの苗を苗木業者へ送り込み生産してもらう(あらたなる苗木生産事業)

平成26年 秋34,000本 平成27年 春70,000本 合計104,000本

②苗木生産への取組み理由

佐伯広域森林組合は、植林・保育・間伐・皆伐・共販・製材・プレカットの事業に取組み佐伯循環型林業として取組んでいる。そういった中、九州管内でも、収穫期を向かえ皆伐作業箇所が増加し、苗木不足が問題となってきた。この地区でも以前は、露地による苗木の生産は行われてきたが、土壌が適さない条件もあり、生産者は皆無となった。しかし、近年、ビニールハウスで



コンテナ苗の生産が行われる技術が確立され、当組合としても苗木生産に取組む事とした。

平成24年 4月 苗木生産事業への研修開始
平成24年 9月 試験挿しつけ 5,000本
平成25年 3月 試験挿しつけ 15,000本
平成26年10月 挿しつけ 20,000本
平成26年12月 初出荷 1,000本
平成27年 2月 出荷 10,000本
平成27年 3月 挿しつけ 10,000本

(1) 管内苗木調達体制の構築(森林組合を核とした協同生産組織を)

平成26年 4月 管内の苗木生産登録者への呼びかけ 約10名
平成26年 4月 新規、生産希望者への呼びかけ 約15名
平成26年9月4日 苗木生産協議会 設立 人数10名(佐伯広域森林組合含む)
平成26年度 挿しつけ本数 10万本実施



苗木需給計画(出荷本数ベース)

(単位:本)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	H33	備考
①佐伯広域森林組合	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000	150,000	コンテナ苗生産(Mスター)
②一般種苗生産者	0	40,000	70,000	160,000	200,000	300,000	
③あらたなる苗木生産事業	34,000	70,000	50,000	50,000	50,000	0	採穂から苗木業者へ
③移入苗	600,000	500,000	500,000	450,000	400,000	350,000	県外より移入
計	644,000	630,000	650,000	700,000	700,000	800,000	

※技術指導等を行いながら種苗生産者を30名を目標に普及する。
※平成33年を目途に管内で45万本の生産を目指す。

